

守田市長定例記者会見の概要

平成30年9月4日（火）

於：宇城市役所2階庁議室

《冒頭発言》

皆様、こんにちは。宇城市長の守田憲史でございます。

本年第3回目の定例記者会見を開催させていただきます。

昨日から平成30年第3回市議会定例会が開会されました。条例案件6件、予算7件、承認・認定などのその他の案件15件、合計28件を上程しています。詳細はお手元の報道資料をご覧ください。

本日の会見では、災害公営住宅の入居者募集や業務効率化に向けた新たな取組などについて発表させていただきます。

また、学校へのICT教材の導入については、後ほど平岡教育長から発表させていただきます。どうぞ、よろしく願いいたします。

《報道発表》

私からご説明させていただく具体的な発表案件は全部で5件ございます。

- ① RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の導入について
- ② 「さしより野菜・たっぷり野菜プロジェクト」の取組状況
- ③ 次世代を担う人材確保に向けた採用力向上セミナーの開催
- ④ 小学生向けプログラミング教室の開催
- ⑤ 災害公営住宅の入居者募集

これらにつきまして、順番に発表させていただきます。

【RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の導入について】

まず初めに、「RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の本格導入について」について説明いたします。

本市では、平成28年4月に発生した熊本地震による災害対応業務の増加に加え、地方創生業務や国・県からの権限移譲の増加などにより、慢性的なマンパ

ワー不足という課題を抱えていました。

このような課題を解決するため、昨年度、総務省の「業務改革モデルプロジェクト」を活用し、RPAの導入に向けた業務の分析・実証実験を行いました。

その結果を踏まえ、今回、職員給与、ふるさと納税、住民異動、会計、後期高齢者医療、介護保険の6業務にRPAを本格導入することとし、業務効率化を図ります。

このように、自治体では通常業務にRPAを本格導入するのは、全国で初めての事例となります。

なお、RPAとは、ロボティック・プロセス・オートメーションの略で、人がパソコンで行う操作を自動化することです。

実際に動きを見ていただいたほうがイメージしやすいと思いますので、RPAの動画を用意しております。前方のスクリーンをご覧ください。

(スクリーンで動画が流れる)

このように、マウスのクリックやキーボード操作など、パソコン上の操作を自動化することで、人よりも早く操作することが可能となります。

現在、本格導入に向けた準備を進めており、準備が整った業務から順次導入していく予定です。

このRPAの導入により、業務の効率化に加え、企画・立案など付加価値の高い他業務への職員の配置転換が可能となります。

なお、この事業の詳細については、総務部市長政策室までお問い合わせください。

【「さしより野菜・たっぷり野菜プロジェクト」の取組状況】

2件目でございます。

「さしより野菜・たっぷり野菜プロジェクト」の取組状況についてご説明いたします。

宇城市では、食事の最初に野菜や海草などを食べることで、血糖値の急上昇を抑え、生活習慣病の増加を抑制する効果を目的とした、「さしより野菜・たっぷり野菜プロジェクト」を3月からスタートしており、今年度、様々な事業を計画・実施しています。

7月には、プロジェクト第1弾として、外出時でも自然と野菜が食べられるよう、市内の飲食店や販売店18店舗をさしより野菜協力店「ベジショップ」として認定しました。

次に、第2弾として、市が認定したベジショップにおいて、「ベジショップで野菜から食べようキャンペーン」を8月24日から9月9日まで開催しています。これは、野菜料理を注文した方を対象に応募券を配布し、抽選で「ドレッシング&調味料セットをプレゼントするものです。

また、第3弾として、「さしより野菜から食べよう啓発キャンペーン」を開催し、8月30日・31日の2日間、市内5か所の販売店でラップなどの啓発グッズを配布しております。

今後も、地場産野菜を使ったレシピを競う「ベジ1（ワン）コンテスト」の実施やニュースカイホテルと連携したオリジナルレシピの開発を予定しており、食生活改善推進員をはじめ、健康づくり推進員や地域婦人会など各種団体と連携しながら事業の展開をしてまいります。

なお、本事業の詳細については、健康福祉部健康づくり推進課までお問い合わせください。

【「採用力向上セミナー」の開催について】

3件目でございます。

宇城市では、9月6日に宇城市ビジネスサポートセンターにおいて、「次世代を担う人材確保に向けた採用力向上セミナー」を開催します。

この事業は、宇城市と、リクナビ等を運営する株式会社リクルートキャリアが連携して、地元企業の人材採用や定着の課題の解決を目指すものです。

リクルートキャリアと地方公共団体が連携して地元企業の採用支援に取り組むのは、県内でも初めての取組となります。

ご承知のとおり、宇城市の主要産業では製造業に係る「生産工程の職業」の有効求人倍率が、3倍を超えるなど、市内の多くの企業が人手不足に苦しんでいます。

地元企業に意欲を持った優秀な人材が就職することは、企業の持続的な成長だけでなく、まちづくりなど、地域コミュニティにおいても非常に重要な意味を持つと考えています。

今回の事業を皮切りに、今後も両方で積極的に連携しながら、地元企業の採用支援に取り組んで参ります。

なお、本イベントの詳細については、経済部商工振興課にお問い合わせください。

【「宇城市プログラミング教室」の開催について】

4件目でございます。

9月29日と30日の2日間、宇城市ビジネスサポートセンターにおいて、「宇城市プログラミング教室」を開催します。

この事業は、宇城市と崇城大学が連携して、子供の頃からいち早く電子工作とプログラミングを通じて、「つくる楽しさ」、「学ぶ喜び」そして「自分の想いを形にする」体験をしてもらい、挑戦意欲に溢れる子供たちを育成することを目的としています。

崇城大学と地方公共団体が連携して開催するプログラミング事業は、県内でも初めての取組となります。

今回は、全国で子供向けプログラミング事業を実施しているキッズベンチャー及びさくらインターネット株式会社の協力のもと、子供用プログラミング専門パソコン「イチゴジャム」を利用した、オリジナルゲーム制作体験を行います。

今回の事業を皮切りに、今後も崇城大学がサポートを行う形で、継続してプログラミング教室を開催していく予定です。

なお、本イベントの詳細については、経済部商工振興課にお問い合わせください。

【災害公営住宅の入居者募集】

5件目でございます。

「災害公営住宅の入居者募集」についてご説明します。

本市では、現在6地区で災害公営住宅の建設中ですが、既に入居者が決定しました不知火町御領第1・第2及び豊野町響原地区を除く125戸の入居者を募集します。

今回の募集で建設予定200戸のうち、155戸を募集することとなります。

入居を希望される方は9月10日（月）から10月12日（金）までに必要書類を添えて宇城市土木部都市整備課までに申し込みをお願いします。

各地区のイメージパースは前方スクリーンをご覧ください。

- ・ 響原地区と川尻地区。
- ・ 両仲間地区と南豊崎地区。
- ・ 曲野中村地区と大野浜田地区 です。

また、募集戸数、入居開始時期等は配布資料をご覧ください。

なお、建設予定の残りの45戸については、現在候補地を選定中ですが、申込

状況により、建設戸数を変更することもあります。

災害公営住宅の入居、建設に関する詳細は土木部都市整備課までお問合せください。

私からの発表は以上でございますが、もう一点、このたび、東京の銀座熊本館で宇城市産の野菜を販売することとなりました。

詳しくは、資料配布をしておりますので、ご覧ください。

以上